



『オオムラサキと里山の一年 夏の雑木林にかがやく、日本の国蝶』

筒井学／写真と文 小学館 2022

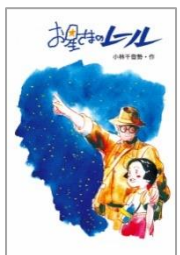
自然豊かな雑木林に行かないと出会えない蝶がいます。日本の国蝶、オオムラサキです。大きくて美しいチョウですが、成虫が見られるのは夏の一瞬だけです。それまで、どんな一年を過ごしているのでしょうか。



『生き抜け! 遭難の五日間』

山口理／作 十々夜／絵 文研出版 2022

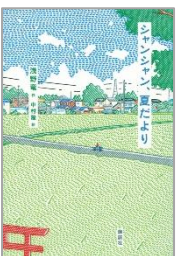
小学5年生の瞬は、夏休みに友達と宿泊登山を計画しました。楽しい思い出になるはずが、トレッキングの途中で遭難してしまいます。恐怖や空腹で、生きることを諦めそうになりますが、みんなで知恵を出し合いながら必死に耐え抜くのでした。



『お星さまのレール』

小林千登勢／作 小林与志／画 改訂 金の星社 2022

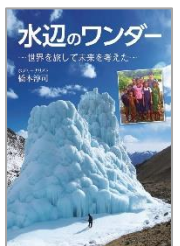
朝鮮で育った日本人の少女チコ。戦争で学校や家を失ってしまい、家族とともに日本に帰ることになりました。生まれたばかりの弟を背負いながら38度線を越える命がけの旅。道しるべは星だけでした。朝鮮からの引き揚げ体験をもとにしたお話です。



『シャンシャン、夏だより』


浅野竜／作 中村隆／絵 講談社 2022

夏休みになり、ラジオ体操の係になった野歩人は、だれにも心をひかない川村ちとせをさそいます。ある日、ちとせがクマゼミを見つけました。そこで親友のカモチと、この町にクマゼミがいるのかを自由研究として観察することにしました。



『水辺のワンダー 世界を旅して未来を考えた』

橋本淳司／著 文研出版 2022

世界各地の水辺を旅しながら筆者が見聞きした、水と人とのかわりを伝えた本です。激しい気候の変化によって水害や水不足など、世界では深刻な問題が起きています。わたしたちのくらしや行動を見直すきっかけをつくってくれる本です。 

夏のもう1冊

2023

夏におすすめのブックリストをつくりました。思い出の1冊に出会う旅に出発しませんか！



このブックリストは出版者の許可を得て表紙に掲載しています。

2023年7月

発行：宮崎県立図書館 児童図書室(こどもしつ)

電話：(0985) 29-2596



『およいでいえにかえりたい』

おかもとかなこ／作・絵 PHP研究所 2022
あすから なつやすみ。がっこうがえりに、おまい ランドセルを
せおって、あさがおの はちうえをもった なぎちゃんは、あせび
っしょりです。「あつい。およいで かえりたい。」すると、いつ
もの けしきが みずで いっぱいに。とても きもちよさそうです。



『うみべのおはなし3 にんぐみ』

ジェイムズ・マーシャル／さく 小宮由／やく 大日本図書 2022
サム、ローリー、スパイダーの 3 にんぐみは、あるひ すなはま
で ピクニックをしていました。おひる ごはんのあと、なにをす
るか はなしあって、ローリーのおはなしを きくことに。ローリ
ーは「じぶんで おはなしを かいているの。」といいます。



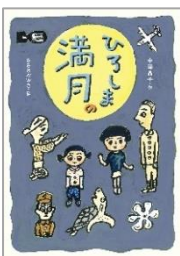
『ほしとそらのしたて』

矢崎節夫／作 高島純／絵 フレーベル館 2022
「なんでもや」の かにの しごとは、だれか こまっていると な
んでも やってあげることです。ある よる、ねようとしている か
にに でんわが かかってきました。この ほんには、どうわが 6
つあります。よめば きっと やさしいきもちに なれますよ。



『みどりの森のなかまたち』

たかどのほうこ／作 理論社 2022
のはらおばさんとのんちゃんたち、のはらクラブの仲間、森をぬ
けておひるね広場に行くことになりました。夏の森にはふしぎやお
どろきがいっぱいです。さあ、どんな木を発見できるでしょうか。
森に遊びに行きたくなるお話です。



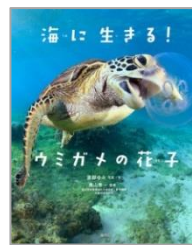
『ひろしまの満月』

中澤晶子／作 ささめやゆき／絵 小峰書店 2022
空き家だった家に、かえてちゃんの家族が引っ越してきました。そ
の家の庭の池には「まめ」という名前のカメがいました。かえてち
ゃんの声を聞いたカメは、心の奥底にしまっていたことを思い出
します。それは 1945年8月の満月の日に起きたことでした。



『ある日、ぼうしをかぶったら』

みとみとみ／作 えとうまさゆき／絵 国土社 2022
れもんは公園で魔女のようなおばあさんに出会ってから、いろい
ろな人の帽子をかぶると、その人が乗り移ったように考えている
ことまでわかるようになってしまいました。魔法をかけられたので
しょうか。不思議な帽子の魔法を通して小さな日常を考えます。



『海に生きる! ウミガメの花子』

黒部ゆみ／写真・文 奥山隼一／監修 偕成社 2022
水中写真家の黒部ゆみさんが、沖縄の海にすむアオウミガメの
花子を中心に、ウミガメの生態や環境問題の影響を解説してい
ます。ウミガメに密着して撮影された写真から、産卵や子ガメが
海に出るまでなど、ありのままに生きる様子を見られます。



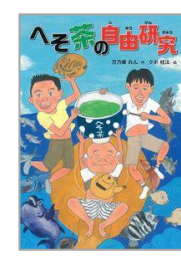
『ももちゃんのピアノ 沖縄戦・ひめゆり学徒の物語』

柴田昌平／文 阿部結／絵 ポプラ社 2022
戦争で穏やかな日常も美しい沖縄の景色も、家族や大切な人の
命までも奪われてしまったももちゃん。それでも、音楽を生きる力
に変えて、笑顔をわすれずに生き抜きます。元ひめゆり学徒の
与那覇百子さんの半生をもとにした物語です。



『ぼくのちいばっぱ』

長江優子／作 早川世詩男／絵 ゴブリン書房 2022
小学3年生の服部至は、住んでいる高そうマンションから、飼って
いるインコの「チーパ」がいなくなったことに気づきます。家族や
友人、クラスメイトの協力を得て探すことになりました。はたしてチ
ーパを見つけることができるのでしょうか。



『へそ茶の自由研究』

万乃華れん／作 クボ桂汰／絵 佼成出版社 2022
ぼくは友だちのそうまと一緒に、「へそで茶をわかす」ことができ
るのかを夏休みに実験してみることにしました。お笑いパワーで、
地球のエネルギー問題を解決することができるかもしれません。
自由研究を通して友情を深める、笑いあり涙ありのお話です。